

県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして





— はじめに —

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林が占める「水と緑の宝庫」です。

これらの森林は、木材を供給するとともに、私たちの生活に欠かせない清らかな水と空気を生み出し、更には地球温暖化を防止するなど、かけがえのない県民共有の財産であります。

県におきましては、この森林を「県民全体」で守り育てていくため、平成17年度から森林環境税を導入し、県民参加の森林づくりをテーマに森林の整備や木材利用の促進、森林づくり活動の推進など、「森をつくる」、「木をつかう」、「森とくらす」の三分野において、さまざまな施策を積極的に展開して参りました。

しかしながら、過疎化や高齢化が進む山村地域では、手入れの行き届かない森林が増加するとともに、木材価格の低迷が林業生産意欲の減退に拍車をかけ、森林を整備・保全していくことが大変難しくなっています。

こうした中、平成22年度からは、第2期目として森林環境税を継続・拡充し、森林整備の一層の加速化と森林資源の積極的な利活用、森林にふれあう機会の提供に重点を置いた取り組みに努めているところです。

本書は、平成24年度の実績を取りまとめたものであり、ぜひ御一読いただき、森林環境税について御理解を賜りますとともに、森林の整備・保全に対する関心を更に高めていただければ幸いに存じます。

今後とも、県民参加によるえひめの森林づくりを進めるため、これまで以上に効率的・効果的な事業実施に取り組んで参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成25年7月

愛媛県知事 中村時広



(愛称) E~もりくん

「E~もりくん」は、森林環境税の普及啓発用シンボルマークです。平成20年10月に本県で開催された「第32回全国育樹祭」のシンボルマークとしても活躍しました。

デザイン 池田 正誉
愛称 高月 悠馬

森林環境税は えひめの森林づくりに役立っています

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林がしめる緑豊かな恵まれた環境にあります。
これらの森林は、かけがえのない県民共有の財産であり、健全な姿で次代に引き継ぐため、
森林環境税を活用し、自然との調和を図りながら「県民参加の森林づくり」を進めています。



森林環境税

【納める額】

個人 年額 700 円
法人 年間 1,400 円～56,000 円
(資本金などに応じた額)

【納める人】

県内に住所がある個人
県内に事務所がある法人

【期 間】

平成 22 年度～平成 26 年度
森林環境税は、県民税均等割に上乗せする
方法で納めていただいています。

事業方式

指定事業

県が用途を定めて
実施するもの

公募事業

県民の皆様及び市町から
取組を公募し実施するもの



県民の 協力

森をつくる

- ◎水を育む森の創造
- ◎貴重な森の保全
- ◎環境に配慮した森の育成

県民の 参加

県民の 支援



森とくらす

- ◎県民と森との交流促進
- ◎森を知る県民活動の推進
- ◎県民がふれあう森の設置

木をつかう

- ◎木と子供たちのふれあい促進
- ◎みんなが集う施設への木材利用
- ◎くらしに活かすバイオマスの利用



県民と森との交流を
推進させるための拠点づくり

豊かな県民生活の実現

森林環境税を活用した事業

① 県指定事業 … 県が用途を定めて実施するもの
(森林環境税の目的を達成するため、県が用途を定めて実施します。)

森をつくる

県民共有の財産である森林を、水源かん養や山地災害防止など公益的機能が発揮できるように森林の整備や保全に努めます。



未整備森林間伐



ニホンジカ個体数調査



ボランティアによる松保全活動



林業担い手の育成

木をつかう

森林から生まれ、人にやさしく、環境保全にも貢献する木材を、より身近に利用していくことに努めます。



学校の木質化



住宅での県産材利用



木製標識等の設置



県産材の販路拡大

森とくらす

森林との出会いやふれあい等を通して、森林を愛する契機を創りだすことに努めます。



枝打ち体験



山登り体験



自然観察会



森林ボランティアの育成

② 公募事業 … 県民の皆様及び市町から取組みを公募し実施するもの
(県民の皆様や市町が企画・立案して実施する活動を支援しています。)



植樹活動



間伐体験



木工教室



森林体験・学習

平成24年度事業実績
事業総括表

◎基金繰入額

積立金	内容	内 訳	予算額	決算額	差引額
森林環境 保全基金 積立金	森林環境税を財源に、県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び、公益的機能を発揮できる森林の保全・整備の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	① 森林環境保全基金積立金	544,236,000円	542,892,841円	1,343,159円

◎歳出額

積立金	内容	事 項 名	予算額	決算額	差引額
森をつくる活動	生活に欠くことのできない森林を、水源かん養や山地災害防止、生物多様性の保全などの公益的機能の向上を図るために整備・保全するとともに、野生鳥獣による森林被害の防止対策を実施するほか、必要な技術者等の人材の育成を進める。		350,107,000円	341,246,386円	8,860,614円
		①森林共生集団間伐促進事業 施業コストを軽減させるための施業地の団地化や作業道開設等と森林の整備	182,100,000円	181,900,770円	199,230円
		②集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	50,397,000円	50,223,230円	173,770円
		③松林保全事業 黒木である松を守るための松林保全活動を支援	10,000,000円	8,445,307円	1,554,693円
		④フォレスト・マイスター養成支援事業 森林を面的・効果的に整備する作業技術者を養成	11,812,000円	11,402,079円	409,921円
		⑤農地水源林保全整備事業 ダム等の農地水源地域の放置森林を水上保全機能を回復させるために整備	64,900,000円	64,573,000円	327,000円
		⑥二ホンジカ森林被害防止対策事業 二ホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	10,000,000円	7,600,000円	2,400,000円
		⑦有害鳥獣総合捕獲事業（二ホンジカ緊急捕獲事業） 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	5,855,000円	2,610,000円	3,245,000円
		⑧優良種苗確保事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	5,150,000円	4,780,000円	370,000円
		⑨二ホンジカ個体数調整実証事業 二ホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	1,793,000円	1,612,000円	181,000円
		⑩撤出間伐促進緊急対策事業 撤出間伐にかかる運搬経費の支援	8,100,000円	8,100,000円	0円
県指定事業 木をつかう活動	持続的に森林整備を進めるために不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共的施設や民間住宅における木造化・木質化、県産材の需要拡大を推進するとともに、林内に設置されている未利用材の有効活用を図り、再生可能なエコ・マテリアル（環境素材）である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。		216,590,000円	213,558,934円	3,031,066円
		①木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	35,754,000円	35,697,900円	56,100円
		②公共施設木材利用推進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化	31,508,000円	30,988,044円	519,956円
		③県立学校校舎等整備事業 県立学校校舎の木造化	8,000,000円	8,000,000円	0円
		④自然公園木製施設整備事業 自然公園内に県産木材を使った遊具、柵、階段などを整備	5,000,000円	4,333,000円	667,000円
		⑤木の香る公園施設整備事業 都市公園に県産木材を使った休憩所やベンチなどを整備	3,000,000円	3,000,000円	0円
		⑥えひめ材住宅普及啓発事業 民間住宅に良質な木材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	64,828,000円	64,813,658円	14,342円
		⑦原木乾しいたけ等生産促進事業 クマギ等の広葉樹をしいたけ等の原木として利用することを促進	24,600,000円	24,249,981円	350,019円
		⑧愛媛県産材製品市場開拓促進事業 県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓等を支援	25,500,000円	24,080,351円	1,419,649円
		⑨新居浜特別支援学校施設整備事業 新居浜特別支援学校の内装の木質化	8,000,000円	8,000,000円	0円
		⑩特別支援学校教育環境整備事業 みなら特別支援学校松山城北分校農作業実習室の木造化	3,000,000円	3,000,000円	0円
⑪住宅等リフォーム木材利用促進事業 個人住宅や店舗等のリフォームにおける県産材利用を支援	7,400,000円	7,396,000円	4,000円		
森とくらし活動	県民参加による森林づくりを推進するため、森林づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場（フィールド）の提供を行なうとともに、次代を担う青少年を対象とした森林体験や森林環境学習等を行い、暮らしの中で森林との共生を推進する。		45,119,000円	37,861,783円	7,257,217円
		①県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	13,939,000円	11,820,999円	2,118,001円
		②県民参加の森設置・提供事業 県民の森林づくり活動の拠点整備	14,396,000円	13,176,050円	1,219,950円
		③自然観察会開催事業 青少年を対象とした自然観察会を開催	1,900,000円	1,628,000円	272,000円
		④森とのふれあい活動促進事業 森林づくりを行う青少年や県民の活動を支援	3,159,000円	1,324,895円	1,834,105円
		⑤林業普及指導事業 森林共生プロジェクトの成果を県下に普及させるための体験と広報誌の発行	3,637,000円	2,268,217円	1,368,783円
		⑥「森林わくわく体験」推進事業 幼稚園や小学校に対する森林環境教育の推進	5,172,000円	5,172,000円	0円
		⑦都市近郊林保全事業 緑に親しむ空間を提供するため、都市近郊林を整備	500,000円	472,500円	27,500円
⑧巡回展「森の博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や森林観察会等の開催	2,416,000円	1,999,122円	416,878円		
公募事業 県民参加の森林づくり	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想を施策に反映するとともに、自発的な活動を支援し、森林に対する県民参加活動を発展させる。		40,000,000円	36,815,000円	3,185,000円
		① 県民参加の森林づくり公募事業費	40,000,000円	36,815,000円	3,185,000円
○ 計			651,816,000円	629,482,103円	22,333,897円